

# 電磁応用

第49号 1998年 6月

## 平成9年度第2回理事評議員会

去る2月27日、新宿のホテルハイヤットにて理事評議員会を開催し、平成10年度の事業計画を決定した。

経済事情は相変わらず思わしくないので、昨年度並の緊縮体制となるが、平成10年度前半で景気が立ち直れば、後半に研究範囲の拡大を検討する。

議事 平成10年度事業計画

平成10年度事業予算

## 1997(平成9)年度 研究発表業績

理事 大附 辰夫

### システムVLSI設計方式に関する研究

1. “システム設計仕様の部分的変更を実現する概略配線経路を考慮したFPGA向けレイアウト再構成手法”, 電子情報通信学会 回路とシステム軽井沢ワークショップ論文集, pp. 187 ~192, April 1997
2. “FOGAを対象とした低消費電力指向配置・概略配線同時処理手法”, 電子情報通信学会VLSI設計技術研究会, Vol. 97, No. 42, pp. 191~198, June
3. “ディジタル信号処理を対象とした高位合成システムにおける高速なスケジューリングアルゴリズム”, 情報処理学会DAシンポジウム '97論文集, pp167~172, July 1997.
4. “スケッチレイアウトシステムにおけるBGAパッケージ配線手法”, 回路実装学会誌, Vol. 12, No. 4, pp. 241 ~ 246, July1997.



5. "A Performance-Oriented Simultaneous Placement and Global Routing Algorithm for Transport-Processing FPGAs," IEICE Trans. on Fundamentals, Vol. E80-A, No. 10, pp. 1795-1806, Oct. 1997.
6. "Fast Scheduling and Allocation Algorithms for Entropy CODEC," IEICE Trans. on Information and Systems, Vol. E80-D, No. 10, pp. 982-992, Oct. 1997.
7. "連想メモリを搭載したハードウェアエンジンによる故障回路並列故障シミュレーションの高速化手法", 情報処理学会設計自動化研究会, Vol. 97, No. 103, pp. 81-88, Oct. 1997.
8. "An Efficient Hierarchical Visual Pattern Block Truncation Coding Scheme," Proc. of IPSJ International Symp. on Information Systems and Technologies for Network Society, pp. 151-154, Sept. 1997.
9. "ツリー構造を持つ論理ブロックを対象としたテクノロジマッピング手法" 電子情報学会VLSI設計技術研究会, Vol. 97, No. 104, pp. 29-36, Dec. 1997.
10. "A High-Level Synthesis System for Digital Signal Processing Based on Enumerating Data-Flow Graphs," Proc. ASP-DAC '98, pp. 265-274, Feb. 1998.
11. "An Incremental Placement and Global Routing Algorithm for Field-Programmable Gate Arrays," Proc. ASP-DAC '98, pp. 519-526, Feb. 1998.
12. "ディジタル信号処理向けプロセッサのハードウェア/ソフトウェア協調合成システム", 電子情報通信学会VLSI設計技術研究会, pp. 17-24, March 1998.
13. "ディジタル信号処理向けプロセッサの自動合成システムにおける並列化コンパイラ", 電子情報通信学会VLSI設計技術研究会, pp. 25-32, March 1998.
14. "パイプラインプロセッサのハードウェア記述自動生成手法", 電子情報通信学会VLSI設計技術研究会, pp. 33-40, March 1998.

—— リニアモータ技術懇談会 ——

理事 小貫 天

- 第11回 (9-6-12)
- 第12回 (9-7-12) 講演者 小豆沢
- 第13回 (9-8-4) ドイツ・ベルリン工大よりの訪問者を迎えて
- 第14回 (9-8-11) 講演者: 高原、山崎
- 第15回 (9-9-1) 講演者: 村井、神屋



第16回リニアモータ技術懇談会 (10-1-22)

場所：早稲田大学理工学部

研究紹介：磁界解析における異種解法の併用に関する研究 任 志元

特殊リニアモータの開発と性能向上に関する研究 田 宇鎮

韓国からの留学生の博士論文公聴会を機に、技術懇談会を開催した。この分野で活躍しているメンバーにより活発な検討がなされた。特に、JRが山梨で行っているリニアモータの開発実験が最近成功したこともあって、極めて盛会であった。さらに会の終了後、恒例の懇親会を高田馬場近くで開催した。

出席者 講演者2名(早稲田大学)の他、石山教授、若尾専任講師、紙屋助手(早稲田大学)、山村(日通)、小豆沢(東芝)、村井(JR総研)、山崎(千葉工大)佐藤(JR東海)、長谷川(JR総研)、柏木(JR総研)、桑原(NTT)、その他小貫・若尾研の学生20名、小貫教授。

第17回リニアモータ技術懇談会 (10-3-19)

場所：早稲田大学理工学部

研究紹介：磁気浮上列車用超伝導磁石の実用化に関する研究 地蔵吉洋(三菱電機)

課題に関する研究紹介が行われ、この分野で活躍しているメンバーにより活発な検討がなされた。会の終了後、恒例の懇親会を高田馬場近くで開催した。

出席者 地蔵吉洋(三菱電機)の他、多田隈(千葉工大)、小豆沢、高原、守谷(東芝)、村井(JR総研)山崎(千葉工大) 佐藤(JR東海)、古賀(JR東海)、石山教授、若尾専任講師、紙屋助手、田博士、任博士(早稲田大学)、その他小貫・若尾研の学生20名、小貫教授。

第117回電気通信技術懇談会(9-4-10)

—— NTTにおけるソフトウェア業務の再編と新組織について ——

NTTにおけるソフトウェア業務について、その機動性、弾力性の一層の強化によるきめの細かいサービスの提供、ならびに、これまで培った力を基にマルチメディア事業や国際ビジネス・NCC等の新市場へのサービス提供を目指して設立された「NTTコミュニケーションウェア株式会社」の概要について説明があり、新会社の成功の要件、類似既存事業との整合などについて懇談がなされた。

同社は資本金200億円、社員数9,500名、資産規模5,000億円により本年9月に営業を開始する予定で、組織は、事業部と各地の支社を柱に、ユーザへの柔軟な対応、コスト削減、弾力的運営を図ることとしている。

当面の顧客はNTT、NTTグループ企業を対象として、通信ソフトウェア開発、社内システム、フィールドサービス、請求書発行、調査・コンサルティング業務等に従事して、初年度通年ベースで4,000億円の受注規模を想定している。

更に将来の成長は、NTT以外の市場への積極的な進出により確保することを計画しており、先ず2～3年後には、それまで育成してきたコアスタッフを中心に単



独営業を開始して新規事業への進出、拡大を図る。更に5年後以降は強力な技術開発力を背景に、新規事業の積極的展開を図り、10年後には7,000億円程度の売上高を持つ、わが国でもトップクラスのソフト会社として順調に成長することを計画している。

新会社は、NTTのみならず、わが国のソフトウェア産業にとっても画期的な意義のある組織として、その成果が待たれるところである。

## 受領資料

### 1. 大学等におけるクローン研究について (中間報告)

学術審議会特定研究領域推進分科会  
バイオサイエンス部会

2. 日立 '98-1, 2, 3, 4,

(株)日立製作所

3. とやま文化の潮流 98. 12. 8

北日本新聞社

4. 東洋大学工学部研究報告 第32号

東洋大学工学部

5. 三洋電機技報 VOL29. NO. 2

三洋電機(株)

---

電磁応用 第49号  
平成10年 6月15日

編集発行人 川原田安夫  
発行所 (財)電磁応用研究所  
〒107 東京都港区南青山5-1-10-808  
TEL. (03) 3499-1888  
FAX. (03) 3499-1989

---